

ス ズ メ

Passer montanus



分類	スズメ目ハタオリドリ科													
特徴	人家の軒下に巣を作りチュンチュンと鳴く、背中が茶色い小鳥。ユーラシア大陸で広く繁殖し、日本でも留鳥として全国で数多く繁殖する。小笠原諸島にはいない。若鳥の中には長距離の移動をする個体もある。狩猟鳥。													
生活	日本では、人間生活との結びつきがきわめて強い鳥で、人里付近だけで繁殖する。繁殖期にはつがいで生活し、人家の屋根や壁のすき間に好んで営巣する。石垣の間、巣箱なども利用し、イワツバメなどの巣を横取りすることもある。繁殖期には昆虫類をよく捕まえるが、季節が進むにつれて植物質が中心となり、地上で草の実を食べる。非繁殖期は群れで生活し、竹藪などにねぐらをもつ。													
声	さえずりはあまりはっきりとわからないが、「チュンチュンチュピチュピチュン」などと、繁殖期に明るく、弾むように長く鳴くのがさえずりといわれている。そのほか「チュンチュン」とか「チョンチョン」と鳴き、けんかしている時は「ジュジュジュッ」と鋭く鳴く。													
見分け方	頬の黒い斑が特徴。													
時期	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
その他	全長(L)14cm　　翼開長(W)23cm													
参考文献：山溪カラー名鑑　日本の野鳥														